

# 中越沖地震

## 上越市内にも大きな被害が



散乱する仏具吉川区の寺院  
この後、「危険」判定の赤い紙が貼られました。

急を聞いて駆けつけていたこの寺院の住職の息子は、高校の同級生でした。



動いた墓石(吉川区にて)  
石灯籠はどこでも倒壊していました。

白壁が剥がれ落ちた土蔵(吉川区にて)  
激しい揺れに倒壊した土蔵が多い。この土蔵は、倒壊だけはまぬがれました。



日本共産党上越市議会議員杉本敏宏の

## 市政レポート

2007年7月22日 151  
発行 杉本敏宏事務所  
上越市東本町5丁目1番38号  
TEL 025(524)3787 FAX 025(524)3832

<http://web.joetsu.ne.jp/~t-sugi/>

メールマガジンのお申し込みは、e-Mail で [t-sugi@joetsu.ne.jp](mailto:t-sugi@joetsu.ne.jp) へ。



知人宅でお茶をいただきながら、18日の市田書記局長を迎えての街頭政談のお誘いをしていました。異様な感じがした途端、下からズーンと突き上げた後、大きく左右に揺れたのです。その揺れはしばらく続きました。茶箆筥の中が倒れ、縁側近くの開き戸が開いて中のものが飛び出しました。蛍光灯が天井にぶつかからんばかりに大きく揺れました。「地震だ」「頭を隠して」「あわてるな」などと声を掛け合っていました。非常に大きな地震だと直感しました。テレビではすぐに、上越は「震度5強」で、「震源は上中越地方」と報道し始めました。石灯笼が倒れていました。

## わが家にもわずかですが被害が



倒壊した吉川区総合事務所のブロック塀と盛り上がった敷石

揺れが収まったのを確認して知人宅を後にしました。交差点で停まったときにも、車の中で揺れを感じました。直接市役所へ行こうと思つたのですが、誰もいない家のことが心配でいつたに戻ることになりました。



駐車場に置いてある車の自転車が転倒していました。東西に揺れたのでしよう。



陥没した道路(吉川区)

茶の間も食堂も無事でしたが、二階の仕事部屋はテレビの横の書籍が飛び散っていました。パソコンのディスプレイが倒れていたのを戻しました。北城町4の町内放送が聞こえていました。前二階の部屋では、立てかけてあった鏡が床に転がっていました。割れてはいませんでした。

## 市役所で情報収集

11時前に市役所に着きました。4階の防災局に直行しました。ここが一番情報が集まると思つたからです。マスコミ関係者も集中していました。すでに401会議室に「対策本部」が設けられ、本会議が始まるうとしていました。ほとんどの部課長が集まっています。震度5以上になると自動的に集まるシステムになっているのです。掲示板にいろん

な情報が書き加えられていきます。「春日小 避難所開設」とあるので、「何かあったのか」と聞くと、「全避難所が開設されました」ということでした。5階の議会事務局に顔を出しました。局長以下何人が来ていました。議長室でテレビを見ていると、古澤副議長が顔を見せました。局長は、「議長は自宅で待機しています」と説明していました。

## 三和区の妹宅へ

三和区の揺れが大きかったので、妹のところにも何度も電話をしたのですが、つながりません。「行つた方が早いな」ということで、車を走らせました。外観は何ともないようでしたが、仏壇の中身が飛び出していたり、冷蔵庫が斜めになっている状態でした。そんな折に大きな余震が襲ってきました。

## 調査し、緊急対策を要請

17日、日本共産党議員団で吉川区、柿崎区、頸城区、三和区を調査し、木浦市長に緊急対策の申し入れをしました。



大谷石の塀はどこでも倒壊しているのが特徴です(頸城区にて)